

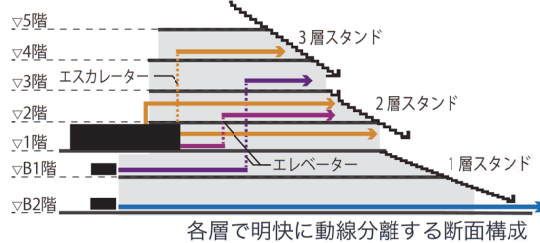
⑪建築計画 観客席の形状及び観客の動線計画、避難計画等を含む建築計画

さまざまな利用者が交錯することなく、目的地に安全でスムーズに辿り着くことができる動線計画を実現します

4 各利用者ごとの専用動線・出入口により、迷うことのない明快でわかりやすい動線計画を実現します

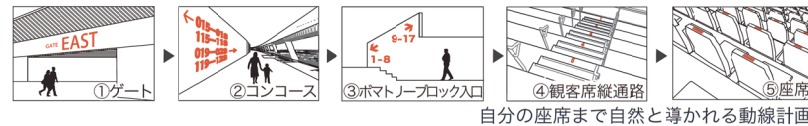
1 各利用者のアプローチを各層で明快に分離したわかりやすい動線計画

- 一般観客・VIP・VVIP・選手のアプローチは各層で明快に分離させ、動線が交錯しない計画とします。



2 敷地入口から座席まで、迷うことのないスムーズな動線計画

- 見通しがよくシンプルな平面構成とし、スタジアム内各所にある、わかりやすい案内サインにより、自分の座席まで迷わずに自然と導かれる動線計画とします。

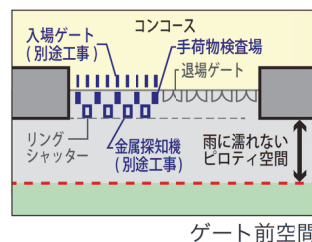


3 各層スタンド専用の一般観客ゲートを計画

- 各層スタンド専用の一般観客ゲートを設置することで、入場の際の混雑を緩和し、分かりやすくスムーズに自分の座席まで行くことができます。
- 1層スタンド専用ゲートをデッキと連続した1階の4箇所に分散配置し、客席ゾーンセクター分けにも配慮した計画とします。
- 2層スタンド専用ゲートは、2階の南北および東デッキに配置することで、ゲートから直接座席まで行くことができます。
- 3層スタンド専用ゲートは、1階南北に配置し、4台のエスカレーターでスムーズに座席まで導かれます。

4 雨に濡れない入場待ちスペース

- 入場ゲートと退場ゲートを分けた計画とし、ゲートの前には十分な滞留空間を確保します。
- 雨に濡れないピロティ空間には、手荷物検査場、金属探知機の設置が可能な計画とします。
- ゲート部にはリングシャッターを設置し、セキュリティと自然通風の取入れを両立させます。



5 最短距離で座席まで移動可能な、車いす使用者動線

- 1層スタンド最上段の車いす席は、ペDESTリアンデッキから1階コンコース、座席までフラットでアクセスが可能な計画とします。
- 2,3層スタンドの車いす使用者のために、IPC基準適合のエレベーターを南北計4台設置し、アクセスのしやすさに配慮します。
- B2階ではエレベーターの直近に車いす使用者用駐車場を設置し、車で訪れた際にも最短距離で座席まで行くことができます。



6 セキュリティを重視した

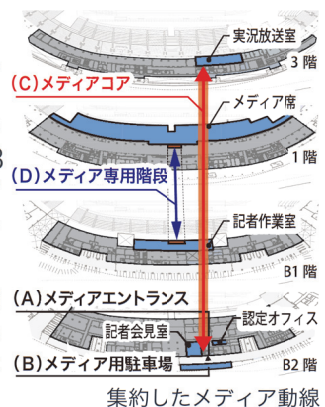


7 スタジアム正面から出迎える

- 試合の前後や合間に飲食を提供するラウンジは、迷わずに座席とラウンジを行き来することができる配置計画とし、ホスピタリティの充実を図ります。

10 メインスタンド側に効率よく集約したメディア動線

- B2階メインスタンド側付近に、分かりやすくメディアエントランスと認定オフィスを設置します。(A)
- B2階メディアエントランスの直近に、メディア用駐車場を設けます。(B)
- メディア各室を上下階の同じ位置に集約し、B2階から3階までの専用のメディアコア(エレベーター及び階段)によって効率よく移動できます。(C)
- B1階の記者作業室から1階メディア席の直近に通じる専用階段を設け、スムーズな連携を実現します。(D)



5 バランスよく配置された管理・運営動線により、さまざまなイベント・大会にフレキシブルに対応可能な計画とします

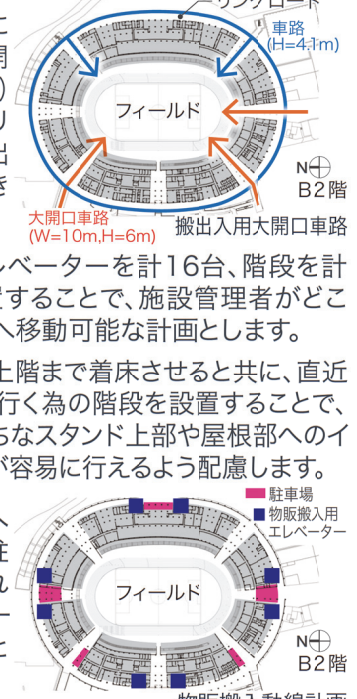
1 大会をスムーズに進行するための大会運営者動線

- 大会運営諸室はすぐにフィールドに出ることができるように、B2階メインスタンド側(西側)に集約配置します。
- 大会運営動線と選手動線は、それぞれ専用の廊下を設け、互いに交錯をなくしスムーズな試合進行を実現します。



2 イベント運営・施設管理に配慮した動線計画

- 西側2か所・南側1か所に車両出入口を設置し、大開口車路(幅=10m,高さ=6m)を設け、オリンピック・パラリンピック競技大会時の演出機材をスムーズに搬入できるように配慮します。
- 管理者が利用可能なエレベーターを計16台、階段を計12箇所バランスよく配置することで、施設管理者がどこからでも速やかに上下階へ移動可能な計画とします。
- 南北のエレベーターを最上階まで着床させると共に、直近に屋根下の点検歩廊まで行くための階段を設置することで、機材搬入が困難となりがちなスタンド上部や屋根部へのイベント設営・メンテナンスが容易に行えるよう配慮します。
- 大会前後に、各階売店への物販搬入を行う為、駐車場の近辺に配置されたエレベーターでスムーズな搬入が行える計画とします。

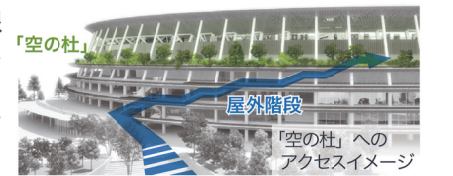


8 将来の観戦ボックス席の転用を見据えたたホリディ動線計画

- バックスタンド(東側)には、3階席の将来観戦ボックス席の転用を見据え、メインスタンドと同様の1階に、エントランス・ラウンジ・エレベーター・階段をあらかじめ計画します。

9 外部から視覚化された、「空の杜」への動線計画

- 「空の杜」への動線は外部からも認識しやすく、人の流れと賑わいが可視化される計画とします。
- 日常時に利用できる屋外階段とエレベーターを南北に設置します。(大規模大会時には、3層スタンド利用者の専用利用が可能となります。)



3 効率よくまとめて、分散配置した駐車場動線計画

- 来館者が容易に駐車することができるよう、駐車場はすべて平置きとし、維持管理の低減にも配慮します。
- B2階に周回可能なリングロードを設置し、有効幅員9m以上確保することで、大型車の転回や追い越しが可能な計画とします。
- B2階の駐車場は、競技者・大会運営者・管理者・メディア等関係各室の直近に、効率よく駐車場を配置します。
- 大会時に必要となるブロードキャストコンパウンドは、機能の連携を考慮し、メディア用駐車場に隣接する南西ペDESTリアンデッキ下に約8,000㎡分のスペースを確保します。
- タクシー乗降場は管理運営本部、駐車場センターに近接した南側出入口付近に設け、管理のしやすい動線計画とします。
- 修学旅行や社会科見学などの大型バスでの来場にも考慮し、大型バス駐車を想定した駐車場を南側出入口付近に設けます。
- 駐車場管制エリア外にタクシー乗降場を計画することで、イベント時の関係者動線と干渉しない、セキュリティに配慮した動線計画とします。
- 搬入口付近にまとめて駐車場を配置し、イベント時には仮設トイレスペースとして活用できるよう換気、照明、給水などの設備を整備します。
※必要仮設トイレは100人/1基とします。

